

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	慢性疼痛診療システム構築モデル事業			担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始年度	平成29年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	難病対策課	課長：平岩 勝			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	今後の慢性の痛み対策について(提言)				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	慢性疼痛については、「慢性の痛みに関する検討会」の報告を踏まえ、痛みセンター(19カ所)の構築と診断・治療法の研究開発、患者に対する相談事業と痛みの適切な管理・理解の普及等の取組みを進めているところ。平成28年度の研究において、痛みセンターを核とし、地域の医療機関と連携した診療モデルを研究することとしている。本事業においては、そこで得られた診療モデルを全国に普及するため、全国8カ所の痛みセンターで地域の医療機関と連携した診療モデルの実践を行う。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	①痛みセンターに地域医療との連携調整のためのコーディネーターを配置 ②痛みセンターと地域医療機関が相互に診療に参加し、地域医療と連携した診療モデルを実践 ③診療モデルに参加した医療機関以外の医療機関・従事者向けの啓発研修会を実施								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	0	79		
	執行額	-	-	-	-	-			
	執行率 (%)	-	-	-	-	-			
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 毎 年度
	診療モデルに参加した医療 機関が行う研修会への参 加者数を増加させること で、診療モデルの普及を図 る。	診療モデルに参加した医療 機関が行う研修会の参加 者数	成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	前年度以上
			達成度	%	-	-	-	-	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	診療モデルを実践した医療機関数(=交付決定件数)	活動実績	件	-	-	-	-		
		当初見込み	件	-	-	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	単位当たりコスト=X/Y		円	-	-	-	-		
	X=執行額 Y=診療モデルを実践した医療機関数	計算式	X/Y	-	-	-	-		
平成 28 ・ 29 年度 予算 内訳 (単 位: 百万 円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	難病等情報提供事業費補助金	-	79	「新しい日本のための優先課題推進枠」79					
	計	0	79						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	I-5 感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること							
	施策	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
			実績値	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	研究(厚生労働行政推進調査事業)で得られた診療モデルを全国に普及するため、全国8カ所の痛みセンターで地域の医療機関と連携した診療モデルの実践を行うことで、上位施策の推進に資する。								
	改革項目	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									
事業所管部局による点検・改善									
	項目	評価	評価に関する説明						
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	地域において慢性疼痛診療システムを全国に普及させるために、モデル的に8箇所の地域で実践する事業であり、社会的ニーズがある。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	慢性疼痛に対する診療システムを全国に普及させるためのモデル事業のため、国費を投入しなければ事業目的を達成できない。						
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	ニッポン一億総活躍プランにおいて、慢性疼痛対策に取り組むこととしており、優先度の高い事業である。						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-							
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-							
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-							
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-								
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-								
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-							

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	-	
	厚生労働省 健康局	-	-		
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
-					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

(難病等情報提供事業費補助金)

厚生労働省

79百万円

〔 交付申請書の内容審査、交付決定等 〕

【補助】

A 医療機関
(8カ所)

79百万円

〔 慢性疼痛診療システム構築モデル事業の実施 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.a医療機関(他7ヶ所も同様)			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	賃金	連携コーディネーター人件費、センター医師等派遣経費	5.5			
	庁費	研修会会場借上、印刷代等	3.8			
	旅費	講師旅費	0.5			
	計		9.8	計		0
	C.			D.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	a医療機関(他7医療機関も同様)	-	慢性疼痛診療システム構築モデル事業の実施	9.8	-	-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-		-	-	-	-	